

福井市・岐阜市・奈良市 三市社協合同研修を実施



日時：令和5年10月6日（金）

12時から16時30分まで

会場：みんなの森ぎふメディアコスモス

令和3年度、福井市社協・岐阜市社協と締結した、災害時等における相互支援協定に基づく3回目の合同研修会を、岐阜市にて行いました。

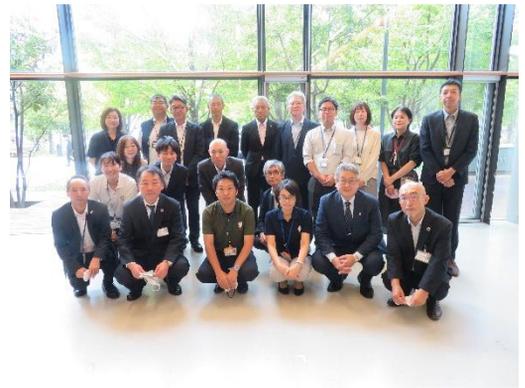
今回の研修は、災害時において災害時支援以外の通常業務を応援し合える関係性の構築が目的であり、社協が置かれている現状や期待される役割を踏まえつつ、それらを遂行するために抱えている各社協の課題共有や意見交換を行いました。県内において同規模社協で意見交換を行える機会はなく、同格社協で現実味を踏まえた課題共有が行えたことは、災害時における今後の実効的な応援関係につながるのみでなく、お互いの社協機能を高め合っていくきっかけにもなりました。

【ランチミーティング】

今回の会場は災害時に、岐阜市の災害ボランティアセンターをはじめとする支援拠点となるということ踏まえ、会場案内をしていただきました。

その後、第二部の課題テーマごとに分かれて各社協職員が着席し、昼食を囲みながら自己紹介を行い、近況報告や課題共有、課題への取り組みの情報交換を行うなど、ランチミーティングを行いました。

非公式的で和やかな環境での意見交換により、関係性の構築が一気に進みました。



【合同研修 第一部】

講義：地域福祉の動向と市町村社協の課題

講師：中央学院大学人間福祉学部 教授 佐甲学氏

佐甲氏より、近年における社協活動の現状や歴史、地域福祉施策の変遷、社協をとりまく課題①地域住民の福祉活動の厚みをつける②協働を広げる（社会福祉施設、民間企業、NPO等）③社協経営の3つの課題について話題提供がされました。それらを踏まえて第二部のワークショップを行いました。

【合同研修 第二部】

「各社協が抱える課題共有と意見交換」と題し、ワークショップを行いました。各社協の抱える課題について代表者が説明したのち、①法人運営について（財源確保、人材確保、育成等）②ボランティアセンターについて（通常VC、災害VC等）③日常生活自立支援事業について（日常生活自立支援事業、法人後見事業等）の3つの課題テーマに分かれて、課題共有と意見交換を行いました。同規模社協として抱える課題について、現実味をもった意見交換ができました。

